

ご挨拶

総 長 井上 明久

“2008 年”、東北大学は新たな100 年の歴史の創造に向けて確かな一歩を踏み出しました。

大学を取り巻く環境の変化とそのスピードがますます加速する時代の中で、社会から知の拠点として人類社会への貢献を委託されている私たちは、今後においても堅忍不拔な努力と真摯な研鑽によって絶えず新たな研究・教育を創造し、自ら変化・進歩し続ける必要があります。

このような中において、「ディスティンディングイッシュト プロフェッサー制度」の導入は、本学が今後の発展を図り、「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指す上で、大変重要なものであると考えております。

「ディスティンディングイッシュト プロフェッサー制度」は、教育、研究、社会貢献等の分野において先導的な役割を担っている教授を本学として尊重し、その活動をサポートする制度であり、優秀な教員に対する本学の姿勢を世界に発信することで、本学の認知度の向上を図るとともに、人材確保に資することも目的とするものです。

本制度により選考されたディスティンディングイッシュト プロフェッサーは、各分野におけるトップレベルの卓越した専門知識に基づき極めて高い業績を発揮してこられた方々であり、正に本学で育まれた「Challenge (挑戦)」、「Creation (創造)」、「Innovation (革新)」という3つのキーワードを基軸に行動する研究マインドを備え持つ教授であり、いわば東北大学の宝です。

ディスティンディングイッシュト プロフェッサーのこれまでの歩みとその活躍は、他の教職員の励みになるとともに学生の良い手本となって本学に浸透し、今後の人類社会の発展への貢献につながるものと信じます。

今回、選ばれたディスティンディングイッシュト プロフェッサー、30 人の先生方には、新たな本学100 年の歴史づくりをスタートした今年度からの3 年間、初代のディスティンディングイッシュト プロフェッサーとして、本学の入学式やサイエンスカフェ等における各種イベント等への協力をお願い致します。

また、それとともに日々の活動などを通して、本学の教育・研究活動及び社会への貢献の状況を広く社会に発信する役割を担っていただきますことを期待します。

